

1. 位置と面積

本県は、南西諸島の南半分に位置し、およそ北緯24度から28度、東経122度から132度まで、距離にして南北約400km、東西約1,000kmに及ぶ広大な海域に散在する多数の島々から構成されており、本土と東南アジアとのほぼ中間に位置し「亜熱帯海洋性気候」と称される自然的、地理的特性を有している。

県土の総面積は、2,282.15km²（国土交通省国土地理院：令和7年1月1日現在）で、国土総面積377,975.68km²の約0.60%となっており、全国第44位である。

▼ 端 点

方位	位置	北緯	東経	那覇からの距離
北端	硫黄鳥島	27度53分08秒	128度13分20秒	約193km
南端	波照間島	24度02分44秒	123度47分18秒	約460km
東端	北大東島	25度57分05秒	131度19分56秒	約366km
西端	与那国島	24度27分05秒	122度55分57秒	約516km

資料：県土・跡地利用対策課「おきなわの土地」

▼ 那覇からの距離

地名	距離
名護	51km
辺戸岬	93km
渡嘉敷島	32km
久米島	89km
伊江島	57km
粟国島	61km
伊平屋村	96km
南大東島	358km
宮古島	287km
石垣島	408km
与那国島	509km
与論島	118km

地名	距離
札幌	2,243km
東京	1,553km
大阪	1,202km
名古屋	1,328km
福岡	861km
鹿児島	655km
台北	約633km
香港	約1,438km
上海	約835km
ソウル	約1,260km
マニラ	約1,470km
シンガポール	約3,742km

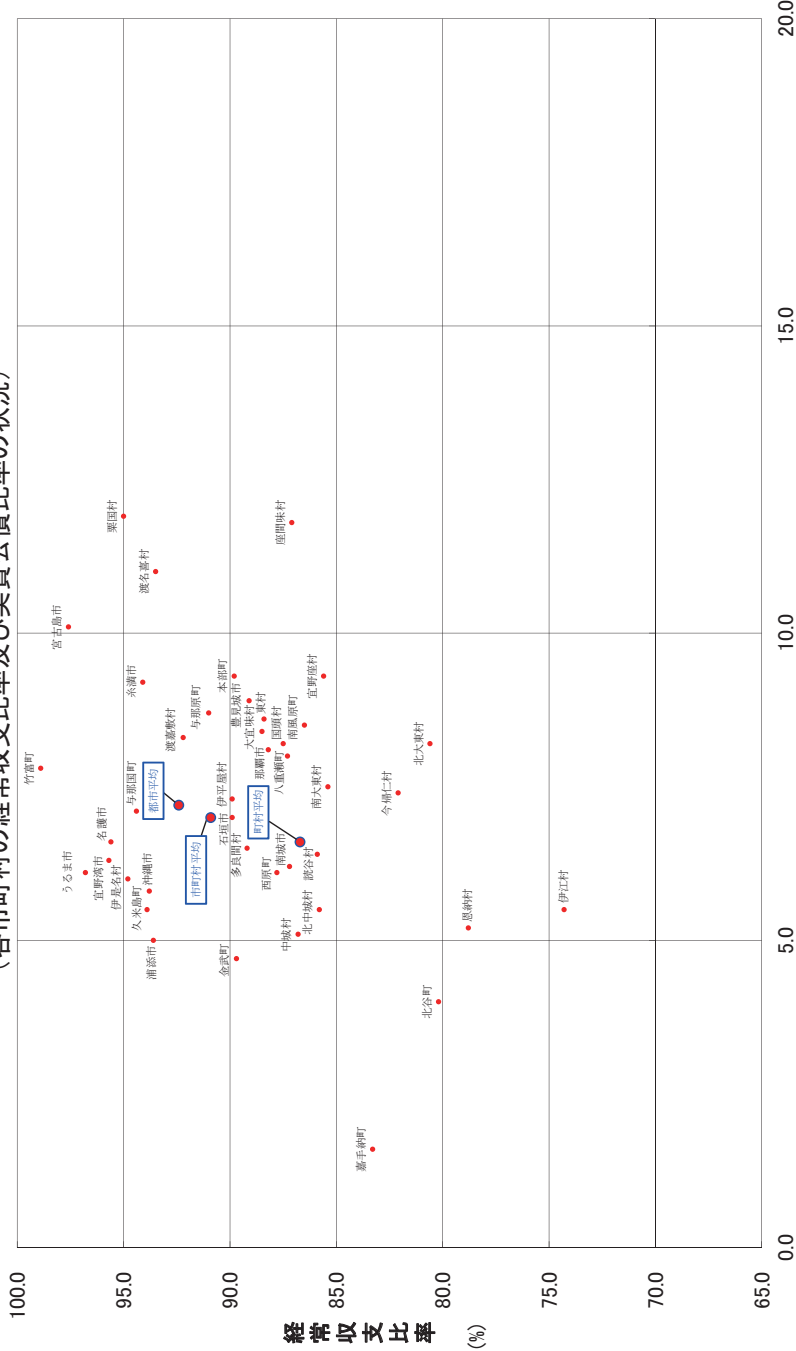
資料：県土・跡地利用対策課「おきなわの土地」

表紙カバーの写真

【（南大東村）シュガートレイン】

「砂糖の島」と言われるように南大東島の基幹産業はサトウキビです。無人島だったこの島を1900年（明治33年）八丈島の玉置半右衛門等によって開拓され、島の産業発展として根付いたのがサトウキビです。当初は、サトウキビを運ぶため水路等を利用していましたが、更なる島の発展向上を求め考案された「さとうきび運搬用列車（シュガートレイン）」。南大東島の産業発展に大きく貢献し、島中を強く走り続けました。

財政構造の弾力性 (各市町村の経常収支比率及び実質公債比率の状況)



実質公債費比率 (%)